

我が国の石油備蓄は国が保有する国家備蓄、石油備蓄法に基づき精製元売会社が義務として保有する民間備蓄、UAEとサウジアラビアとの間で2009年から開始した産油国共同備蓄の3本柱で実施されている。各保有量は、UAEが48万キロ、民間備蓄が313万キロ、産油共同備蓄が15万キロの合計81万キロ(19年11月現在)による。国内石油需要量の実に230日分に相当する量だ。

無資源国である我が国は、石油備蓄の歴史は古く、1972年に

供給を受けることが保証され

おり、国家・民間に次ぐ第3の

備蓄は位置付けられている。

さながら、危機時には我が国が優先

される。経済協力開発機構(OE

論 説

石油備蓄の重要性とは



要望書とアンケート結果を加藤専務に手渡す安井理事長(左)と寺島副会長(右)

大阪石商の安井一男(50歳)、全石連で加藤文

理事長と西尾淳発券店副会長・専務理事と

連絡、『発券店付けを挙げての支援を求める要

望書』を手渡し、組織

具体的には、災害救

助法の適用となつた岩

用重機・車両などに燃

料を供給する重要な責

務を担つてゐることか

東京、神奈川、新潟、下

タンク・配管、燃料

電線などをインフラ設

備の再建で稼働する工事

橋、上下水道、送

水被災などを受け、被災地

域で運営する石油

ガソリンや石油製品販売業

者を運営する小口燃料

などを運営する費用の4

分の3を補助する(補

修・修理、買ひ替え

金上限額はISSあ

る)、自家発電機などの

後の額に補助率(4分

の3相当)を乗じた額

を控除し、控除

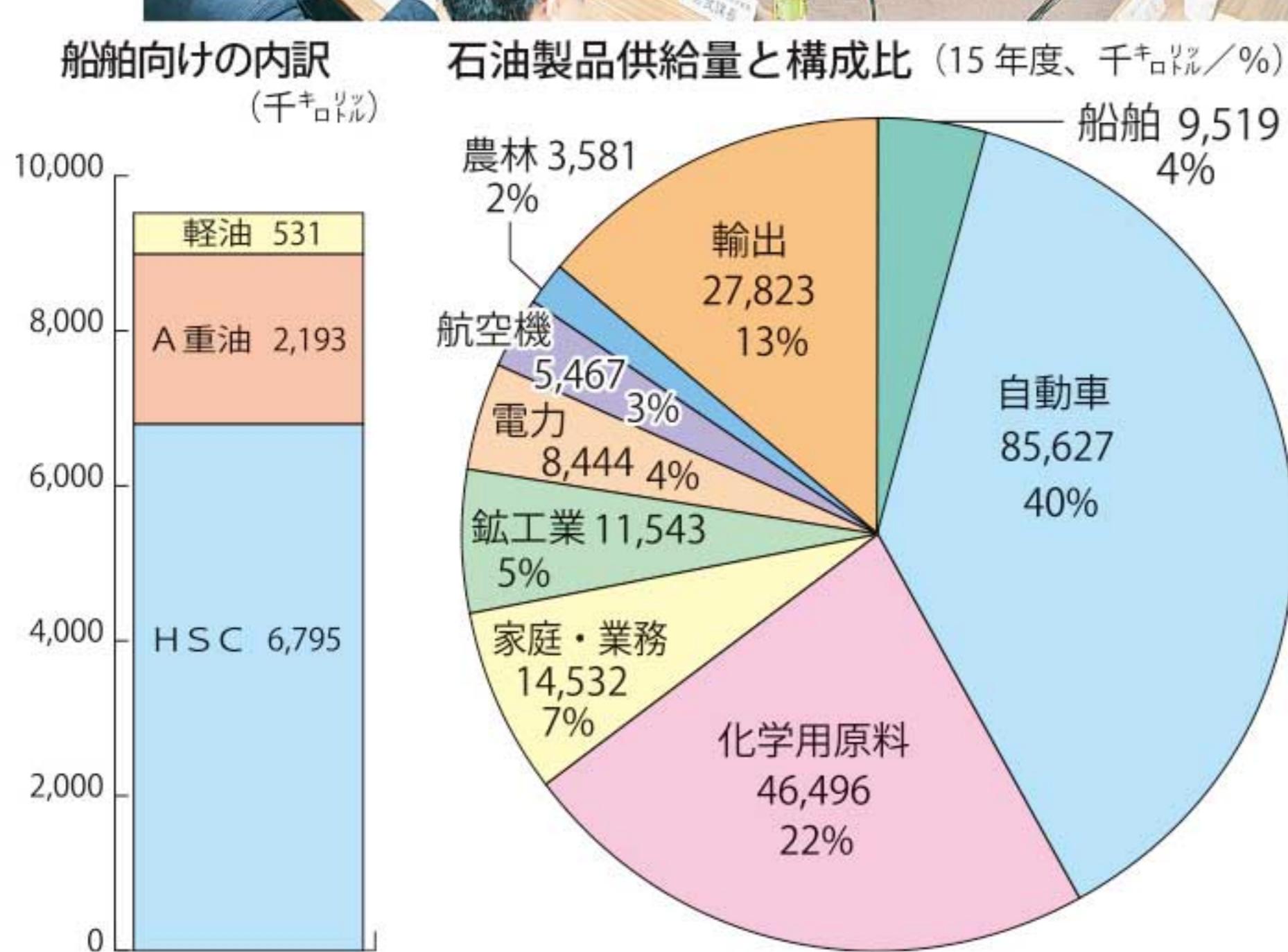
額の額に相当)を乗じた額

を控除し、控除

IMO規制対応と適合油・周辺油種への影響



石油・海運両業界が対応策を検討してきました
会議 2017年3月



石油業界、導入へ整備急ぐ

石油業界はIMO規制対応に向け、全石油各支部の農林漁業委員会や東京石商産業エネルギー協議会等の場を中心に検討状況などを都度説明し、情報提供に努めてきた。精製元売は始まりた模様だ。

来年1月1日から施行

来年1月1日から施行



国交省は「適合油使用手引書」「燃料サーキュレーションガイドライン」を作成し、万全の計画を期す

石油業界は大きな変化がなかった。その結果、国内主要港の二酸化硫黄(SO₂)濃度に対する船舶の起因率(5年シミュレーション)は大阪府泉州北港(45%)や横浜港・川崎港(40%)などはじめ相当地。これを受けたが、船舶用重油は1960年代から大きな変化がなかった。

内需と輸出を合算した石油製品供給量と構成比(15年度、千キロドリル%)

農林 3,581
船舶 9,519
自動車 85,627
化学用原料 46,496
家庭・業務 14,532
鉱工業 11,543
電力 8,444
航空機 5,467
輸出 27,823
その他 4%

規制・総量規制が導入されてきたが、船舶用重油は1960年代から大きな変化がなかった。その結果、国内主要港の二酸化硫黄(SO₂)濃度に対する船舶の起因率(5年シミュレーション)は大阪府泉州北港(45%)や横浜港・川崎港(40%)などはじめ相当地。これを受けたが、船舶用重油は1960年代から大きな変化がなかった。

内需と輸出を合算した石油製品供給量と構成比(15年度、千キロドリル%)

農林 3,581
船舶 9,519
自動車 85,627
化学用原料 46,496
家庭・業務 14,532
鉱工業 11,543
電力 8,444
航空機 5,467
輸出 27,823
その他 4%

規制・総量規制が導入されてきたが、船舶用重油は1960年代から大きな変化がなかった。

内需と輸出を合算した石油製品供給量と構成比(15年度、千キロドリル%)

農林 3,581
船舶 9,519
自動車 85,627
化学用原料 46,496
家庭・業務 14,532
鉱工業 11,543
電力 8,444
航空機 5,467
輸出 27,823
その他 4%

規制・総量規制が導入されてきたが、船舶用重油は1960年代から大きな変化がなかった。

内需と輸出を合算した石油製品供給量と構成比(15年度、千キロドリル%)

農林 3,581
船舶 9,519
自動車 85,627
化学用原料 46,496
家庭・業務 14,532
鉱工業 11,543
電力 8,444
航空機 5,467
輸出 27,823
その他 4%

規制・総量規制が導入されてきたが、船舶用重油は1960年代から大きな変化がなかった。

内需と輸出を合算した石油製品供給量と構成比(15年度、千キロドリル%)

農林 3,581
船舶 9,519
自動車 85,627
化学用原料 46,496
家庭・業務 14,532
鉱工業 11,543
電力 8,444
航空機 5,467
輸出 27,823
その他 4%

規制・総量規制が導入されてきたが、船舶用重油は1960年代から大きな変化がなかった。

内需と輸出を合算した石油製品供給量と構成比(15年度、千キロドリル%)

農林 3,581
船舶 9,519
自動車 85,627
化学用原料 46,496
家庭・業務 14,532
鉱工業 11,543
電力 8,444
航空機 5,467
輸出 27,823
その他 4%

規制・総量規制が導入されてきたが、船舶用重油は1960年代から大きな変化がなかった。

内需と輸出を合算した石油製品供給量と構成比(15年度、千キロドリル%)

農林 3,581
船舶 9,519
自動車 85,627
化学用原料 46,496
家庭・業務 14,532
鉱工業 11,543
電力 8,444
航空機 5,467
輸出 27,823
その他 4%

規制・総量規制が導入されてきたが、船舶用重油は1960年代から大きな変化がなかった。

内需と輸出を合算した石油製品供給量と構成比(15年度、千キロドリル%)

農林 3,581
船舶 9,519
自動車 85,627
化学用原料 46,496
家庭・業務 14,532
鉱工業 11,543
電力 8,444
航空機 5,467
輸出 27,823
その他 4%

規制・総量規制が導入されてきたが、船舶用重油は1960年代から大きな変化がなかった。

内需と輸出を合算した石油製品供給量と構成比(15年度、千キロドリル%)

農林 3,581
船舶 9,519
自動車 85,627
化学用原料 46,496
家庭・業務 14,532
鉱工業 11,543
電力 8,444
航空機 5,467
輸出 27,823
その他 4%

規制・総量規制が導入されてきたが、船舶用重油は1960年代から大きな変化がなかった。

内需と輸出を合算した石油製品供給量と構成比(15年度、千キロドリル%)

農林 3,581
船舶 9,519
自動車 85,627
化学用原料 46,496
家庭・業務 14,532
鉱工業 11,543
電力 8,444
航空機 5,467
輸出 27,823
その他 4%

規制・総量規制が導入されてきたが、船舶用重油は1960年代から大きな変化がなかった。

内需と輸出を合算した石油製品供給量と構成比(15年度、千キロドリル%)

農林 3,581
船舶 9,519
自動車 85,627
化学用原料 46,496
家庭・業務 14,532
鉱工業 11,543
電力 8,444
航空機 5,467
輸出 27,823
その他 4%

規制・総量規制が導入されてきたが、船舶用重油は1960年代から大きな変化がなかった。

内需と輸出を合算した石油製品供給量と構成比(15年度、千キロドリル%)

農林 3,581
船舶 9,519
自動車 85,627
化学用原料 46,496
家庭・業務 14,532
鉱工業 11,543
電力 8,444
航空機 5,467
輸出 27,823
その他 4%

規制・総量規制が導入されてきたが、船舶用重油は1960年代から大きな変化がなかった。

内需と輸出を合算した石油製品供給量と構成比(15年度、千キロドリル%)

農林 3,581
船舶 9,519
自動車 85,627
化学用原料 46,496
家庭・業務 14,532
鉱工業 11,543
電力 8,444
航空機 5,467
輸出 27,823
その他 4%

規制・総量規制が導入されてきたが、船舶用重油は1960年代から大きな変化がなかった。

内需と輸出を合算した石油製品供給量と構成比(15年度、千キロドリル%)

農林 3,581
船舶 9,519
自動車 85,627
化学用原料 46,496
家庭・業務 14,532
鉱工業 11,543
電力 8,444
航空機 5,467
輸出 27,823
その他 4%

規制・総量規制が導入されてきたが、船舶用重油は1960年代から大きな変化がなかった。

内需と輸出を合算した石油製品供給量と構成比(15年度、千キロドリル%)

農林 3,581
船舶 9,519
自動車 85,627
化学用原料 46,496
家庭・業務 14,532
鉱工業 11,543
電力 8,444
航空機 5,467
輸出 27,823
その他 4%

規制・総量規制が導入されてきたが、船舶用重油は1960年代から大きな変化がなかった。

内需と輸出を合算した石油製品供給量と構成比(15年度、千キロドリル%)

農林 3,581
船舶 9,519
自動車 85,627
化学用原料 46,496
家庭・業務 14,532
鉱工業 11,543
電力 8,444
航空機 5,467
輸出 27,823
その他 4%

規制・総量規制が導入されてきたが、船舶用重油は1960年代から大きな変化がなかった。

内需と輸出を合算した石油製品供給量と構成比(15年度、千キロドリル%)

農林 3,581
船舶 9,519
自動車 85,627
化学用原料 46,496
家庭・業務 14,532
鉱工業 11,543
電力 8,444
航空機 5,467
輸出 27,823
その他 4%

規制・総量規制が導入されてきたが、船舶用重油は1960年代から大きな変化がなかった。

内需と輸出を合算した石油製品供給量と構成比(15年度、千キロドリル%)

農林 3,581
船舶 9,519
自動車 85,627
化学用原料 46,496
家庭・業務 14,532
鉱工業 11,543
電力 8,444
航空機 5,467
輸出 27,823
その他 4%

規制・総量規制が導入されてきたが、船舶用重油は1960年代から大きな変化がなかった。

内需と輸出を合算した石油製品供給量と構成比(15年度、千キロドリル%)

農林 3,581
船舶 9,519
自動車 85,627
化学用原料 46,496
家庭・業務 14,532
鉱工業 11,543
電力 8,444
航空機 5,467
輸出 27,823
その他 4%

規制・総量規制が導入されてきたが、船舶用重油は1960年代から大きな変化がなかった。

内需と輸出を合算した石油製品供給量と構成比(15年度、千キロドリル%)

農林 3,581
船舶 9,519
自動車 85,627
化学用原料 46,496
家庭・業務 14,532
鉱工業 11,543
電力 8,444
航空機 5,467
輸出 27,823
その他 4%

規制・総量規制が導入されてきたが、船舶用重油は1960年代から大きな変化がなかった。

内需と輸出を合算した石油製品供給量と構成比(15年度、千キロドリル%)

農林 3,581
船舶 9,519
自動車 85,627
化学用原料 46,496
家庭・業務 14,532
鉱工業 11,543
電力 8,444
航空機 5,467
輸出 27,823
その他 4%

規制・総量規制が導入されてきたが、船舶用重油は1960年代から大きな変化がなかった。

内需と輸出を合算した石油製品供給量と構成比(15年度、千キロドリル%)

農林 3,581
船舶 9,519
自動車 85,627
化学用原料 46,496
家庭・業務 14,532
鉱工業 11,543
電力 8,444
航空機 5,467
輸出 27,823
その他 4%

規制・総量規制が導入されてきたが、船舶用重油は1960年代から大きな変化がなかった。

内需と輸出を合算した石油製品供給量と構成比(15年度、千キロドリル%)

農林 3,581
船舶 9,519
自動車 85,627
化学用原料 46,496
家庭・業務 14,532
鉱工業 11,543
電力 8,444
航空機 5,467
輸出 27,823
その他 4%

規制・総量規制が導入されてきたが、船舶用重油は1960年代から大きな変化がなかった。

内需と輸出を合算した石油製品供給量と構成比(15年度、千キロドリル%)

農林 3,581
船舶 9,519
自動車 85,627
化学用原料 46,496
家庭・業務 14,532
鉱工業 11,543
電力 8,444
航空機 5,467
輸出 27,823
その他 4%

規制・総量規制が導入されてきたが、船舶用重油は1960年代から大きな変化がなかった。

内需と輸出を合算した石油製品供給量と構成比(15年度、千キロドリル%)

農林 3,581
船舶 9,519
自動車 85,627
化学用原料 46,496
家庭・業務 14,532
鉱工業 11